

受賞名：内閣総理大臣賞

タイトル：おまわりさんのパパがおしえてくれたたいせつなこと

氏名：鷹取 遵

小学校名：兵庫県 加西市立宇仁小学校 一年

ぼくのパパは、しろばいのおまわりさんです。やすみのひは、いろんなどころにつれていってくれたり、かぞくをえがおにするのがじょうずなやさしいパパです。

そんなパパにぼくはことしのなつやすみ、いままでにみたこともないようなかおで、しかられました。それは、ラジオたいそうのかえりに、おともだちといっしょに、じてんしゃでさかみちをおりるあそびをしていたからです。スピードがでてとってもたのしかったので、なんかいもしました。このことをしったパパはしんけんなかおでぼくにこういいました。

「パパは、こうつうかのおまわりさんだから、こどもがこうつうじこにあって、なくなったげんばをなんかいもみてきた。じこにあえば、かぞくみんながつらいおもいをする。どうろであそんではいけないよ。」ぼくは、「おともだちがさそってきた。どうろであそんだらだめなことくらいわかっているよ。」といいかえました。するとパパは、「おともだちがまちがったときに、ちゅういしてあげるのがほんとうのおともだちだよ。たのしいことにながされていっしょにやったらだめだよ。」といいました。そのときのぼくはすなおに「ごめんなさい。もうしません。」がいえませんでした。

つぎのひのラジオたいそうのかえりも、おともだちに「さかをじてんしゃでおりよう。」とさそわれました。ぼくは、ゆうきをだして「あぶないから、やめよう。」といいました。きのう、パパのおはなしをきいて、もし、したのどうろにくるまがきたら、ぼくもおともだちもおおけがをするかもしれないし、おとしよりやちいさいこがいたら、おおけがをさせてしまうかもしれないとおもったからです。

パパ、あのときはちゃんといえなかったけど、「どうろであそばない。とびださない。」やくそくするよ。ぼくのいのちも、おともだちのいのちもたいせつにするからね。おしえてくれて、ありがとう。